

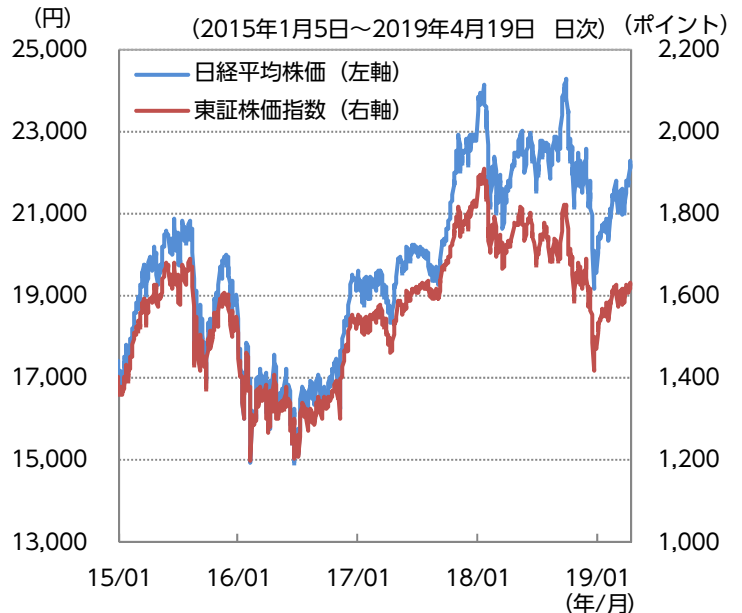
週間市場レポート

(2019年4月15日～4月19日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

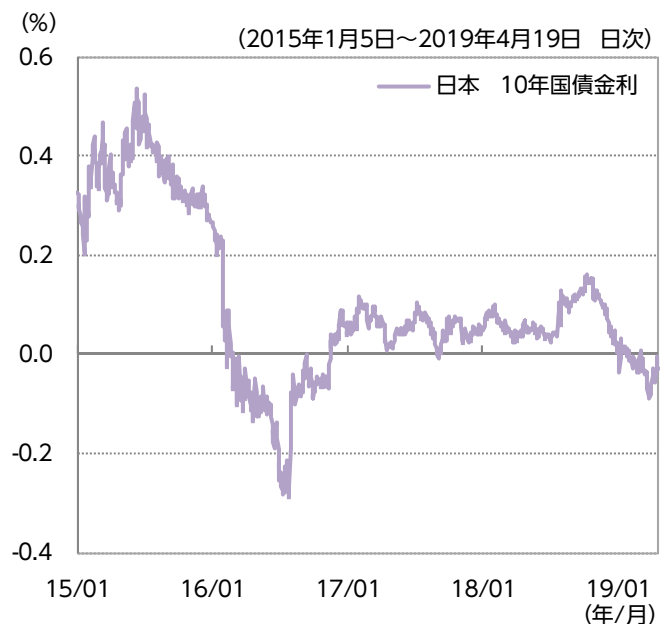
- 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。良好な企業決算や中国の景気改善期待等を背景に、前週から引き続き17日（水）まで5日続伸しました。その後は、海外投資家を中心に利益確定目的の売りに押され小幅に下落したものの、週末は底堅い米個人消費や企業決算を背景に米国株式が買われた流れを受け、買いが優勢となり前日比で上昇しました（週末引け値：22,200.56円）。
- 週間では、日経平均株価は1.51%の上昇、東証株価指数は0.72%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。世界景気に対する過度な懸念が和らぎ株式が買われたことから、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました（週末引け値：-0.030%）。
- 週間では、0.026%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。好調な企業決算と、医療制度改革によるヘルスケア業界への業績懸念等から、一進一退の展開となりました。週末は市場予想を上回る小売売上高を受け、前日比で上昇しました（週末引け値：26,559.54ドル）。
- 週間ではNYダウは0.56%の上昇となりました。

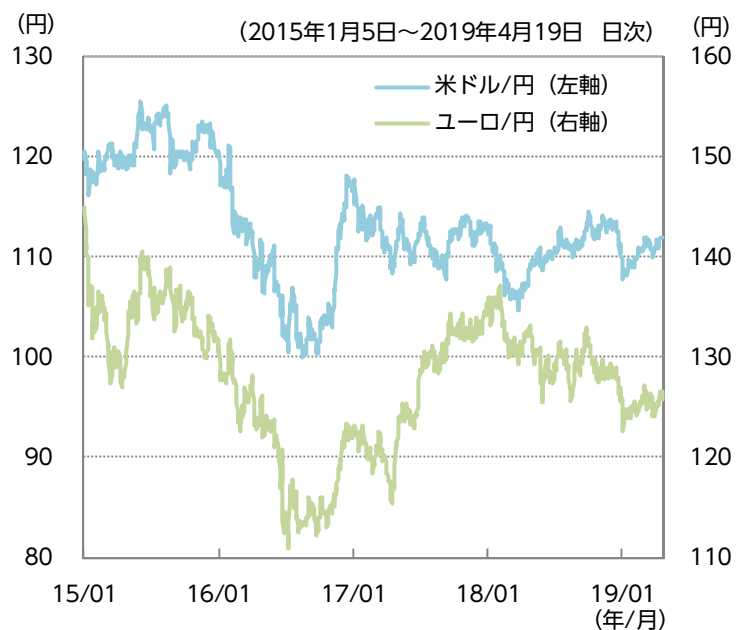


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。堅調な米経済指標や、世界経済への過度な景気減速懸念が和らいだことから円売り米ドル買いが優勢となる一方、持ち高調整による円買い米ドル売りに押されました（週末引け値：111円80銭～90銭）。
- 週間では米ドル/円は0.09%の円高、ユーロ/円は0.59%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>